

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

しなやかで魅力あふれる産業中枢都市 豊田市

国道155号
豊田南バイパス

令和8年度
全線開通



令和7年7月
豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、不確実性の高まる世界経済情勢下において、日本全体の活力を取り戻し、経済社会の力強い成長・発展を実現していく必要があります。このためには、インフラ老朽化を始めとする防災・減災、国土強靱化の取組の切れ目ない推進により国民の不安を取り除くとともに、国内投資を持続的に拡大し、生産性の向上に寄与する戦略的な社会資本整備、DX等の推進など、地方創生の実現に取り組む必要があります。

世界をリードする産業中枢都市である本市においても、自動車産業を取り巻く環境が激しく変化する中で、産業中枢都市としてこれまで以上に日本経済を牽引し強靱な国内経済基盤を構築するためには、産業拠点を国内にしっかりと定着させ、生産性の向上や国際競争力の強化などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や加速化するインフラ施設の老朽化などの様々な課題を背景に、防災・減災が主流となる安心・安全な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路は持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き強靱で効率的な人流・物流を実現する道路ネットワークの構築、インフラメンテナンス及びDX等の推進などの防災・減災、国土強靱化の強力な推進、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 国内投資拡大や生産性向上につながる幹線道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
- 2 強靱で効率的な人流・物流を支え、地方創生を実現する幹線道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
- 3 第1次国土強靱化実施中期計画に基づく対策を切れ目なく着実に推進するため、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で満額確保すること**
- 4 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、新たな財源の創設等により、令和8年度道路関係予算は、資材価格や人件費などの高騰も加味した上で、所要額を満額確保すること**

■ 重点要望事項 ■

○**太字**は最重点要望事項

持続的な経済成長の実現

＜サプライチェーンの強靱化＞

○（都）**豊田刈谷線（一般県道宮上知立線バイパス）の早期整備**

＜高規格道路へのアクセス性向上＞

○**国道 419 号（四郷拡幅）の早期整備**

- ・国道 301 号（益富拡幅）の早期整備
- ・国道 419 号（西中山バイパス）の早期整備
- ・国道 419 号（四郷亀首拡幅）の早期事業化

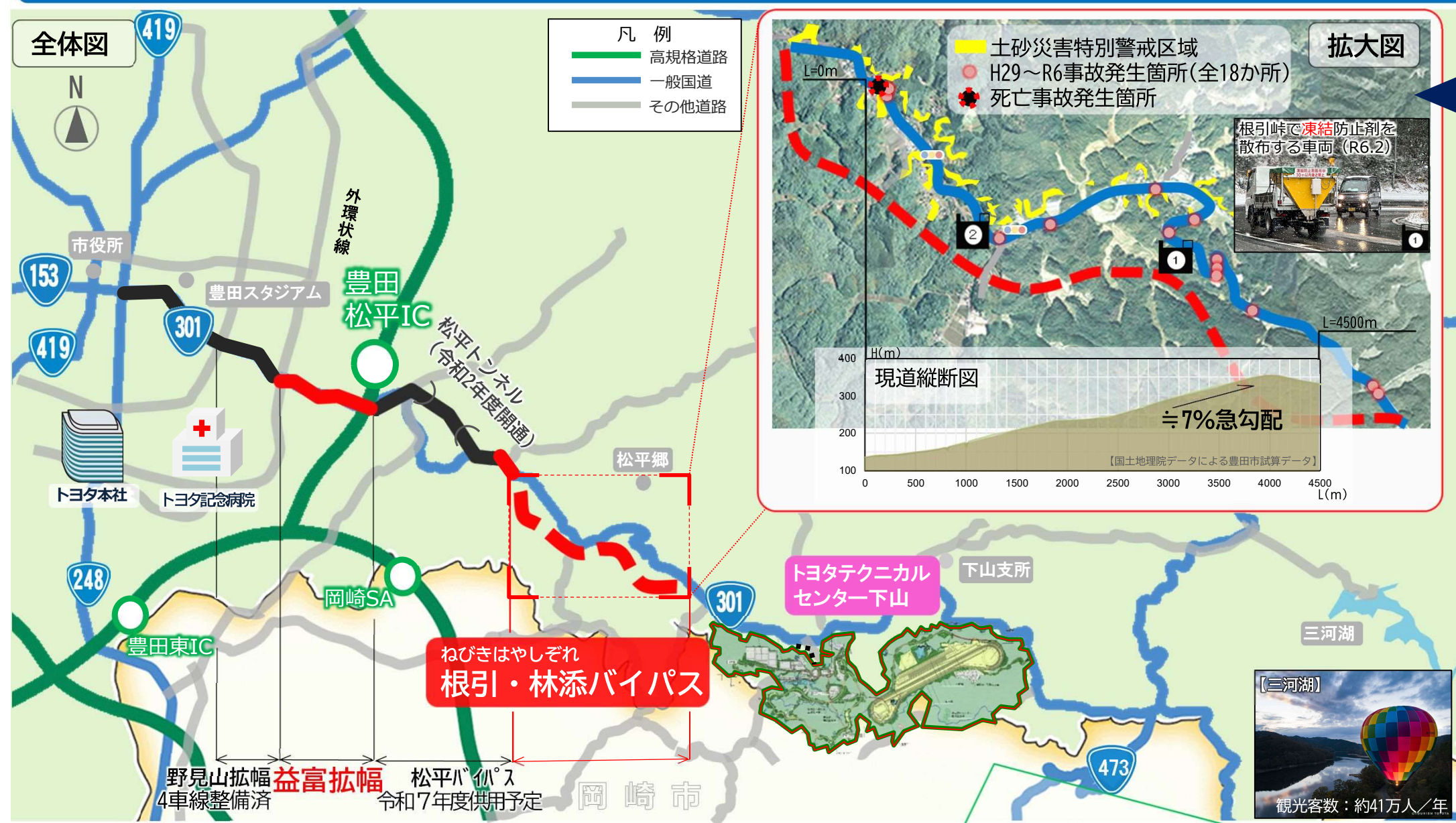
個性をいかした地域づくり

＜活力ある山村地域の実現＞

○**国道 301 号（根引・林添バイパス）の早期整備**

国道301号 根引・林添バイパス【県事業】～人・モノ・技術の交流と結合を実現する道路整備～

- 最先端の研究開発施設を支援し、国の基幹産業である自動車産業の更なる発展を実現
- 安心・安全な山村地域の実現に必要な道路ネットワークを形成



連続する道路線形不良箇所

落石崩落箇所や交通事故発生地点が点在

- 第2次緊急輸送道路で、第3次救急医療施設のアクセス路
□令和元年には死亡事故が発生。通学路にも指定



交通渋滞の発生

- 現道は急勾配・急カーブが続き大型車は減速
- 研究開発施設の稼働により、新たな交通需要の発生



山村地域のいのちと生活を守る

強靱な道路環境を実現

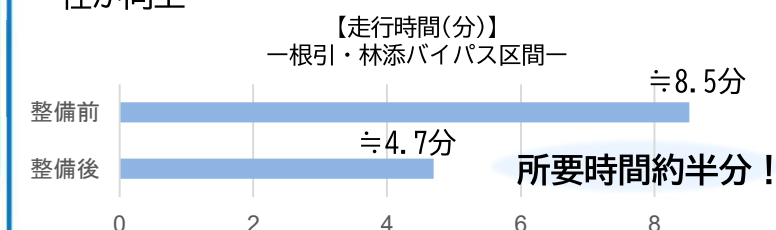
- 緊急輸送道路の**代替性**
及び**信頼性の確保**
- 第3次救急医療施設への
確実な輸送
- 大型・通勤車両の転換
による**交通安全の向上**



産業と観光の成長を支援

研究開発施設及び観光地へのアクセス性向上

- バイパス整備により、所要時間が約半分に
- 豊田松平IC・研究開発施設・観光地などのアクセス性が向上



令和7年4月1日
研究開発施設関連
道路出張所開設

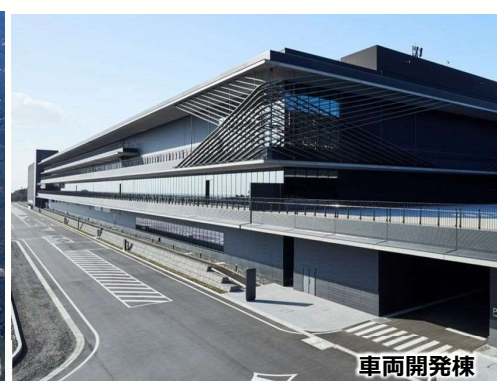


総数17名（豊田市派遣3名）
でアクセス道路整備を加速

「もっといいクルマづくり」の拠点となる研究開発施設「Toyota Technical Center Shimoyama」



令和6年12月10日撮影



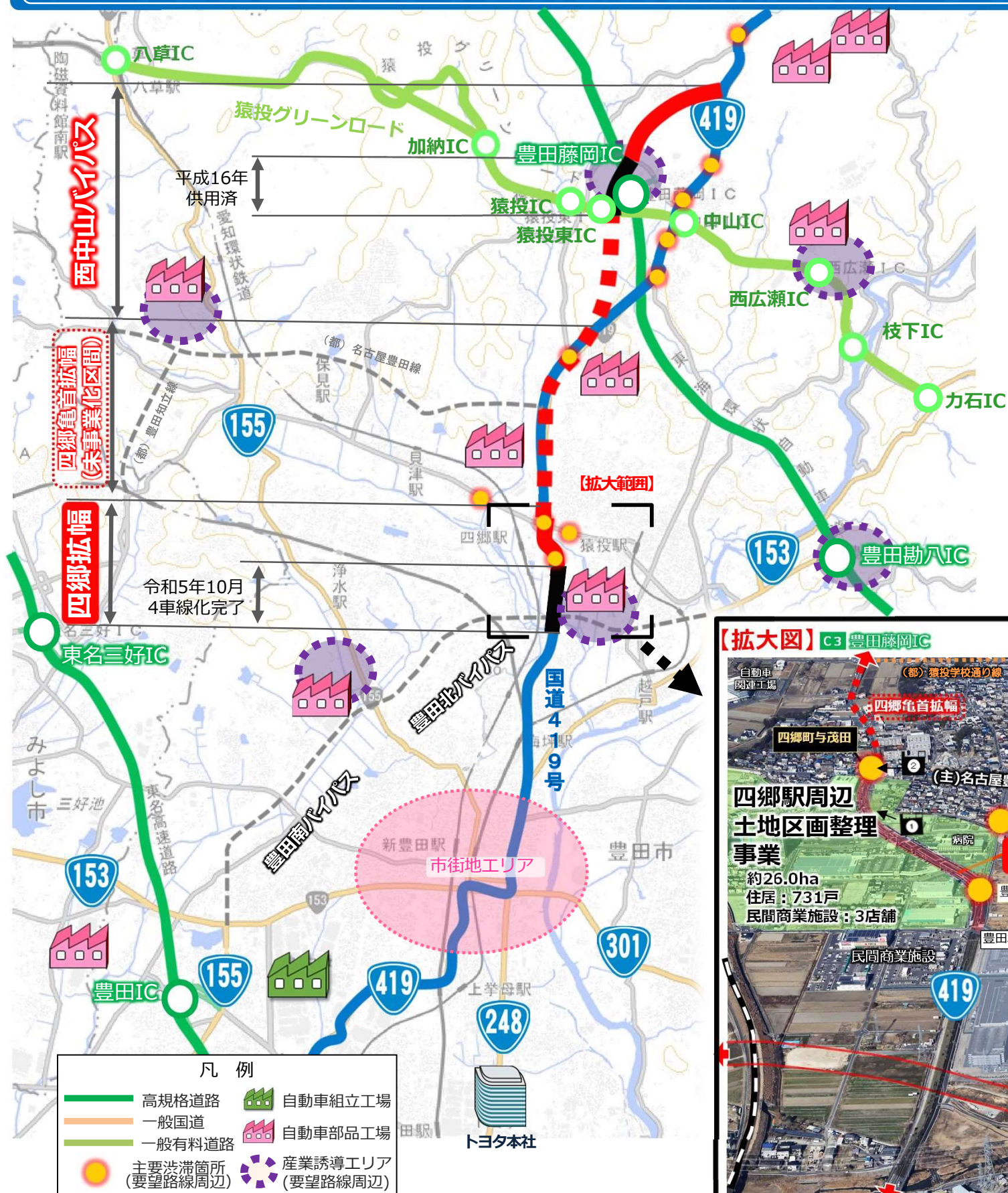
車両開発棟

- 
- | | |
|--------------|------------------------|
| □従業員数 | 3千人
(拡大し得る容量3,850人) |
| □本社と下山間の出張者数 | 約22千人/年 |
| □開発車両の輸送 | 30便/日 |

根引・林添バイパスの開通により
フルトレーラー輸送が可能となり輸送効率向上！

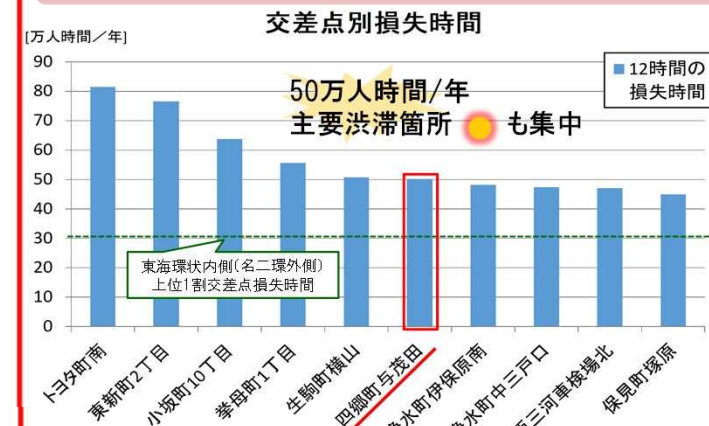
アクセス道路整備で「もっといいクルマづくり」をサポート

- 産業拠点とICへのアクセス性向上によるサプライチェーンの強靱化
- 4車線化整備により民間投資需要が増大するなどストック効果を発現



交通渋滞による生産性の低下

時間ロスの発生

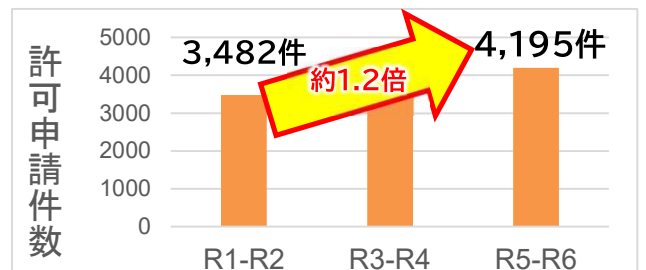


□通勤・帰宅時を中心に与茂田交差点に交通が集中

大型車両の安全性・走行性に課題



【豊田市への特殊車両通行許可申請件数の推移】



□ドライバー不足等に伴い車両が大型化

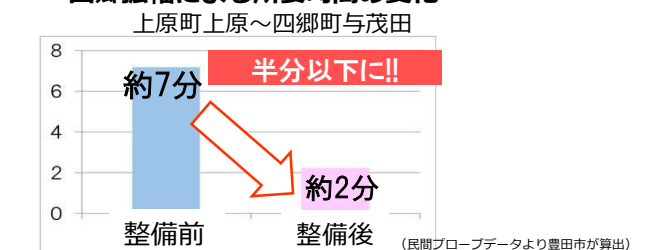
道路整備への期待感から土地利用が高度化



生産性向上や民間投資の誘発を実現

4車線化整備により所要時間を短縮

四郷拡幅による所要時間の変化



土地区画整理事業や産業団地拡張が進展



- 四郷駅周辺土地区画整理事業の完了
- 花本産業団地拡張や民間商業施設オープン

(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス【県事業】 ～ものづくり産業の基盤を支え 高規格道路へのアクセス性を高める道路整備～

- 部品工場集積地と組立工場集積地を結ぶ、強靱なサプライチェーンを形成
- 円滑な移動を確保し、物流の効率化や安心・安全な道路交通の実現



周辺幹線道路に交通が集中

県道宮上知立線の慢性的な渋滞

□ 国道155号、国道419号、豊田南IC周辺は主要渋滞箇所指定されているほか、県道宮上知立線も慢性的な渋滞が発生

□ 渋滞を避けるため、通過交通が生活道路へ流入し、交通安全上危険な状態

県道宮上知立線の慢性的な渋滞 (写真①)



住宅地へ流入する通過交通 (写真②)



道路交通の機能分担

ダブルネットワーク化を実現

□ 交通事故発生時、災害発生時においても交通を確保し、物流の定時性を確保

□ 現道区間の渋滞緩和、交通安全の向上



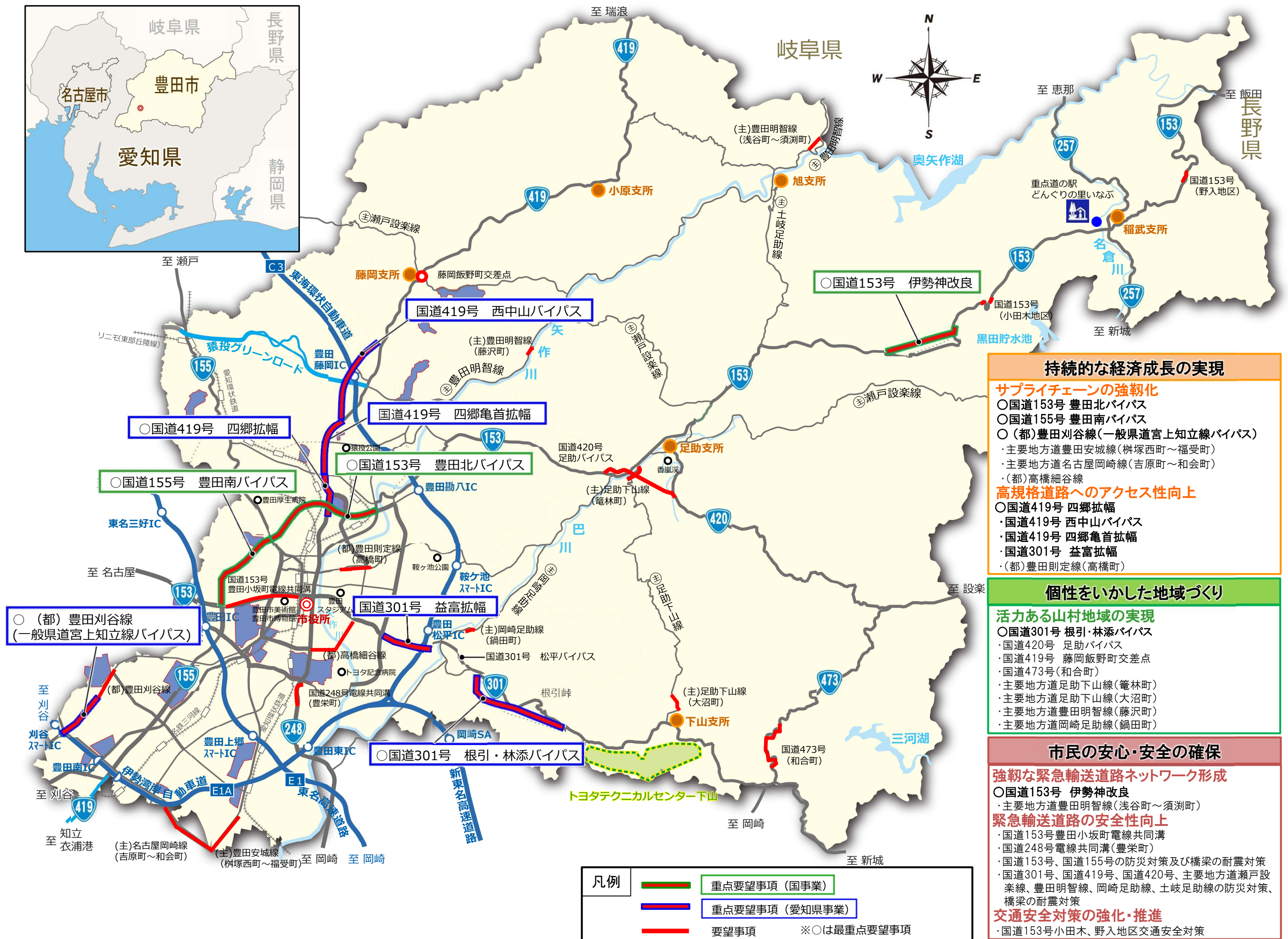
高規格道路と部品工場及び組立工場を接続

□ 自動車産業のサプライチェーンを構築する部品工場集積地と組立工場集積地、高規格道路を接続し、物流の速達性を向上



中田工区 大型車の通行状況 (写真③)

豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



令和7年7月3日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会 長 豊 田 市 長

太 田 稔 彦

豊田市議会議長

北 川 敏 崇

豊田商工会議所会頭

三 宅 英 臣